

添付データ 2

①どのような内容でしたか

②生徒の反応はいかがでしたか

美東中学校	①	職場体験で精神科の病院を訪問し、2日間入院患者の方と交流した
	②	実習そのものは本気で取り組み、いろいろな勉強をさせていただいたと思うが、すべてのドアにカギをかけたり、格子を見たりしてショックをうけたようだった。
吉見中学校	①	臨床心理士とチームを組み、アンケートによる「ストレスチェック」をし、臨床心理士の講演と気になる生徒の個別指導をした。
	②	自分について悩んでいる生徒も多く、臨床心理士の講演後の感想は“もっといろいろな勉強したい”と意欲的であった。
宇部高校	①	点字栞作成、ブラインドウォーク、車椅子試乗、手話講習会、精神・身体障害者等に関するビデオ視聴
	②	体験学習については真面目さ半分、おもしろさ半分の様子でしたが大変さはよく分かったようです。精神障害については真面目に視聴していました。
豊北高校	①	ADHDの生徒（級友）をどのように受け入れるか。どう共生するか。
	②	ADHDが一種の病気であることを理解し、トラブルは減少した。
光高校	①	以前勤務した学級で担当した学年に軽度ではありますが、発達障害を持つ生徒がおりました。入学してしばらくしてその生徒に対するいじめが始まりかけた時、当時の担当学年の教員全員でロングホームルームの時間を使い、学年全員にその生徒のことを話し、理解を訴えました。最初はその生徒が不在の中で行い、2日目はその生徒もいっしょにして、説明と指導を行いました。
	②	真剣に捉えてくれていました。その後いじめは皆無ではないですが、ほぼなくなり何より当人が明るい表情で学級生活を送るようになりました。友人関係も築けていました。
防府高校	①	自閉症でありながら画家として活躍する人の話
	②	真剣に聞いてはいたが、関心があるようには思えなかった。

その他内容

- 10 機会がない
- 8 個別指導を行っている
- 8 担任ではないから
- 5 発達段階を考慮した結果
- 4 取り組んでいない
- 3 検討したい(実施予定)
- 3 特別時間を設定してはいない
- 3 内容がわからない
- 2 これまで取り組んでいなかった
- 2 身体障害者との交流はあるが精神障害者とはない
- 2 生活の中で教育
- 2 専門知識がない
- 2 必要に応じて指導
- 1 活動内容に入っていない
- 1 関心がなかった
- 1 傾向のある児童のみ行っている
- 1 心の健康教育という名称では扱っていない
- 1 心の健康教育を意識して指導はしていない
- 1 指導計画にない
- 1 自分では行っていない
- 1 資料、教材がない
- 1 ストレスについては朝会等で話し合う
- 1 精神障害者の人権差別に踏み込んだ内容ではない
- 1 保健室の保健指導で話した
- 1 保健便りに掲載
- 1 要請があれば行ってもよい

その他内容

- 60 全教員
- 35 専門家、医師、カウンセラー
- 13 教育相談、人権教育担当
- 3 関係者
- 2 生徒指導
- 1 不要
- 1 専門教諭
- 1 専門家・体験者
- 1 全教員、専門家
- 1 全員でまたは専門家
- 1 宗教教員
- 1 児童支援担当
- 1 子どもに接する大人
- 1 校長、教頭
- 1 講演
- 1 ケースによる
- 1 クラブ顧問
- 1 教育分野
- 1 管理職
- 1 学年主任
- 1 学識経験者
- 1 各教科
- 1 外部講師、校内担当者
- 1 T.T